

令和5年度 学校評価報告書

学校番号(小32) 長崎市立(稲佐小)学校

1 教育目標

たくましく未来を切り拓く子どもの育成 ※合い言葉「なりたい自分になる」
 <身に付けさせたい資質・能力：たくましく未来を切り拓く力>
 ○よく考え解決する力 ○思いを伝え合う力 ○チャレンジする力 ○自分を大切にする力 ○ふるさとを愛する心

2 学校経営方針

子ども・保護者・教職員・地域が誇りに思える学校
 ○学力を保障する学校 ○心を育てる学校
 ○体を鍛える学校 ○地域とともに輝く学校

3 重点目標

①学力の向上：特色ある学校づくり・学習指導の充実・G I G Aスクール構想の推進
 ②児童会目標の意識化：特別活動の充実・道徳教育の充実・特別支援教育の充実・生徒指導の充実・図書活動の充実・平和教育の充実・国際理解教育の充実・人権教育の充実
 ③3つの約束の徹底：3つの約束「気持ちの良い挨拶」「履き物をそろえる」「は・さ・み歩き」の徹底・健康教育の充実・学校給食の充実・学校体育の充実・「あ・は・は」運動の推進

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	95%	96%	100%	○概ね良好 ・次年度も「働き方改革」の視点で「組織運営」「業務の改善」の向上に努めて、90%以上を目指す。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	95%	96%	100%	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			87%	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			88%	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	78%	88%	87%	○概ね良好 ・80%以下となった唯一の項目が生活・生徒指導の「ルール・マナー(児童生徒)」である。学年差が見られるので、次年度は学年の実態に応じた指導を心掛ける。 ・「あ・は・は」運動は90%以上を目指し更なる周知が必要である。掲示だけでなく関連文書の定期的な周知を心掛ける。
		挨拶をよくしている	100%	83%	94%	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	85%	84%	81%	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94%	92%	100%	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	98%	85%	100%	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96%	91%	100%	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100%	93%	100%	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	99%	95%	94%		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	97%	93%	100%	○概ね良好 ・家庭学習の充実は学力向上に欠かせない要因なので、学校での学びの習慣を家庭での学びの習慣につなげる意識を全職員で共有して数値の改善を目指す。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	95%	96%	100%	
		家庭学習の習慣が身に付いている	94%	81%	93%	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	94%	91%	100%	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		96%				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	98%	96%	100%	○概ね良好 ・「早寝・早起き・朝ごはん」は「あ・は・は」運動の取組の一つであるので、まずは「あ・は・は」運動の周知を目指す。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	95%	86%	93%	
		体力向上に努めている	98%	84%	94%	
	食育	食に関する教育活動を行っている	94%	98%	88%	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	92%	92%	100%	○概ね良好
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	95%	94%	100%	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	97%	97%	94%	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			94%	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	96%	92%	94%	○概ね良好
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100%	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○全体的に「概ね良好」である。肯定的割合が昨年度より上がっている項目が大変多く、稲佐小学校の学校経営方針やその達成に向けた取組が、児童や保護者に理解されていると考える。次年度も継続できるよう努める。

○肯定的割合が80%以下の項目が、昨年度6項目から今年度1項目に大幅に減少した。特に教職員において全ての項目が80%以上になった点は、「働き方改革」を進める中でも「働き甲斐」や「働きやすさ」を高めることができた成果であると考えられる。

○保護者においても、全ての項目が80%以上であった点は良かった。しかし、90%以下の項目は7項目あり、児童(2項目)や教職員(2項目)より多い点は課題である。学校や学級の取組やその成果を十分に伝えきれていないことも考えられるので、次年度は、「あ・は・は」運動の周知を始め、保護者への広報活動に一層努める。

6 学校関係者評価

- 学校は大変よくやってくれている。
- 挨拶は地域の人にもよくしている。
- 子供はしているつもりでも、親の目から見るとまだまだと感じることが多いのではないかと感じる。目標をどの程度に設定するか、欲を出すときりがない。
- 体力テストの結果を踏まえた体力向上の取組をしてほしい。
- 地域行事への参加状況がよくない。保護者の参加意欲が低いのではないかと感じる。思い出作りとしても多くの子供たちに参加してほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ①学校と家庭の目標共有のための取組
 - ・学校行事や懇談会等の機会や、学校だよりや学年(学級)通信等を効果的に活用し、学校(学年・学級)の目指す子供の姿や目標等を保護者と共有する。
- ②体力向上の取組
 - ・課題①柔軟性：体育の時間の準備運動の一つとして、柔軟性を高める運動「ジャックナイフストレッチ」を実施
 - ・課題②持久力：体育の時間の準備運動の一つとして、学級の実態に応じた持久走等を実施
- ③地域行事への参加率向上に向けた取組
 - ・チラシの配布だけでなく、学校(担任等)からも積極的な参加を呼び掛ける。育成会活動との連携を図り、保護者への参加や協力を呼び掛けるなどして、地域行事への意識を高める。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。